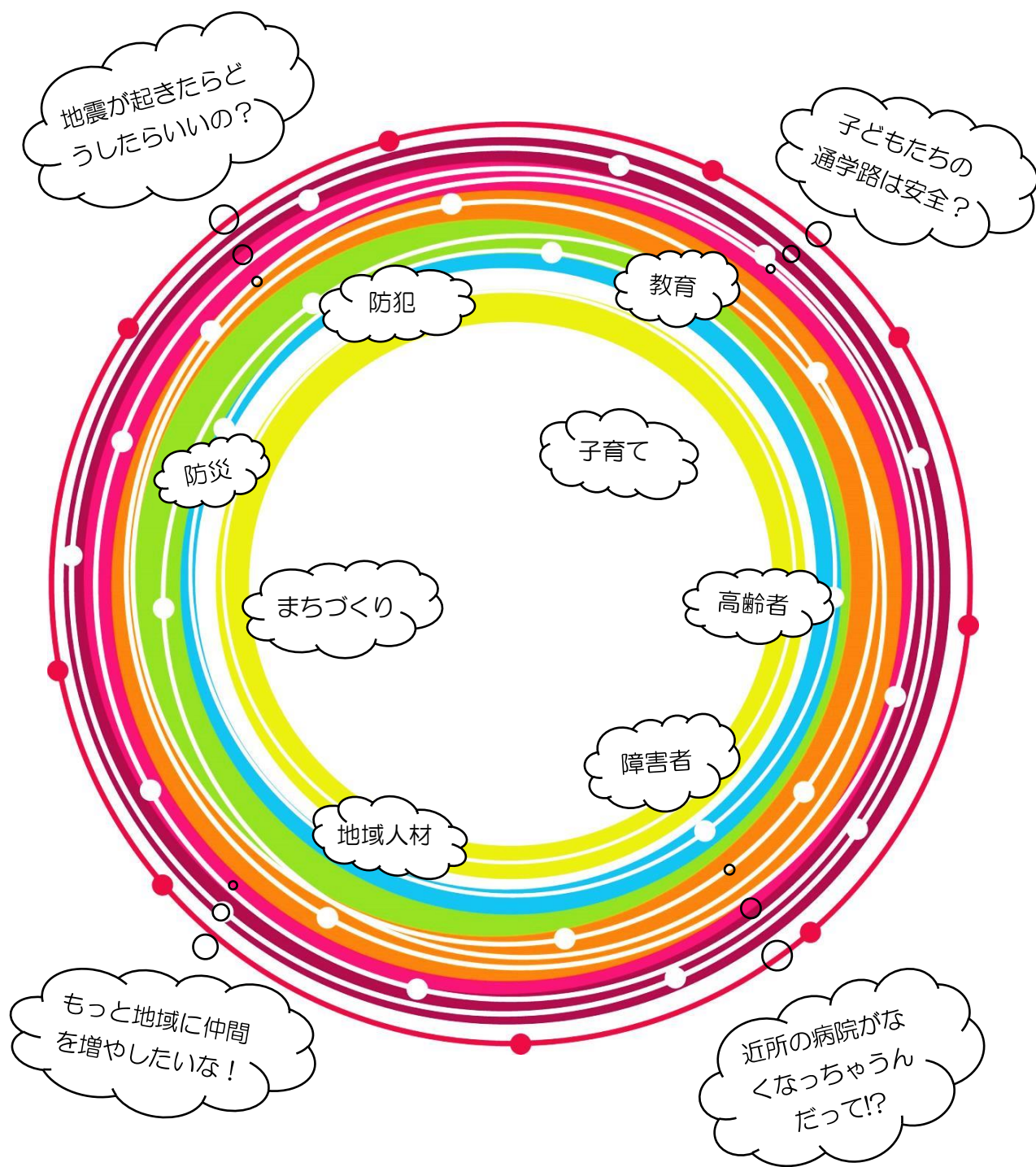


みんなでやってみよう！！

地域フォーラム

—地域フォーラム実践集—

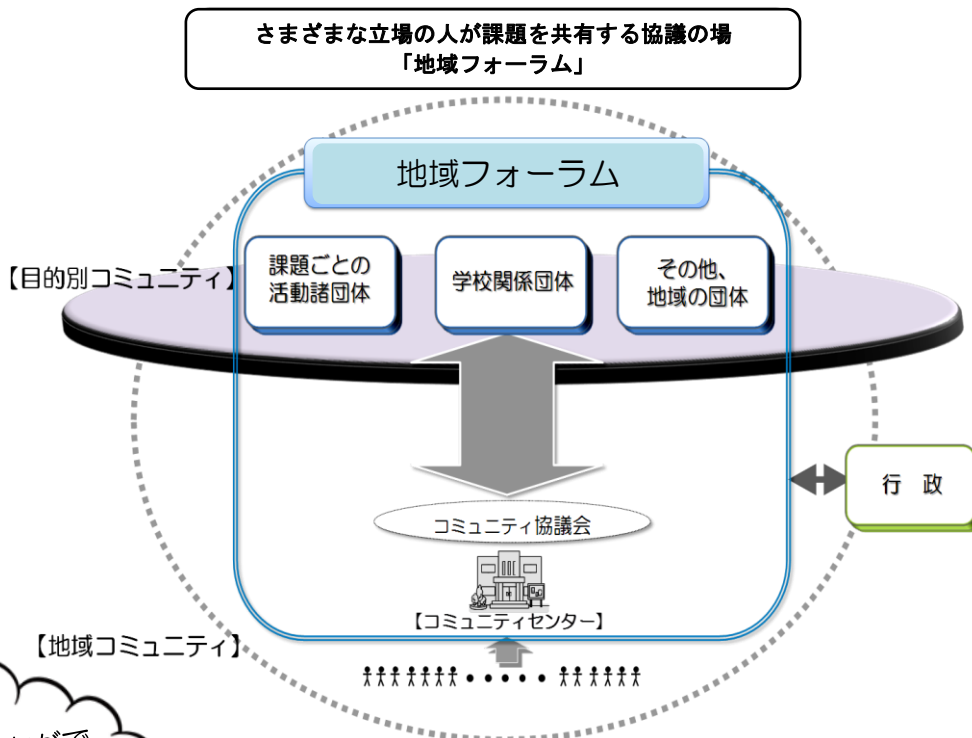


地域フォーラムとは

地域で共有・解決すべき課題について話し合うことができる場です。

【地域に関する市民調査（平成 24 年度実施）から明らかになった現状と課題】

- ◆ 地域にコミュニティ協議会と多様な活動団体が存在しているが、連携がうまくいっていない。
- ◆ 災害時の助け合いや情報伝達の基礎となる、地域との緩やかなつながりや参加しやすい環境づくりを求める地域の声が多い。
- ◆ 多様な活動団体のほとんどが担い手の固定化・高齢化に悩んでいる。



地域の情報共有ができます。誰でも自由に「対等な立場」で議論に参加できます。

❁ どこでできるの？
各地域のコミュニティセンターで開催できます。

❁ 誰ができるの？
運営は、コミュニティ協議会だけではなく、地域で活動するさまざまな団体が行います。具体的なテーマや運営方法などについては、その時々地域の実情に応じて設定していきます。

❁ どんなことをするの？
これまでコミュニティ協議会が取り組んできた地域コミュニティづくり（人と人とのつながりづくり）を基盤としながら、コミュニティ協議会や多様な目的別の活動団体、個人、必要に応じて行政が参加し、地域の課題について共有し、解決の端緒を築くため話し合っていきます。

「地域フォーラム」の開催を通して、コミュニティ協議会と課題別の活動団体の連携が深まると同時に、団体に属さない住民を含めた地域の交流が深まることで「これからのコミュニティ」の活性化を目指します。さらには地域活動に新たな担い手が登場することが期待されています！

地域フォーラムをはじめとした 各地域の取り組み

多くの地域で既に地域フォーラムやそれと同等の取り組みが実施されています。ここでは平成27年度に開催された地域フォーラムを中心に事例を一部ご紹介します。

各コミュニティ協議会の取り組み方はさまざまですが、どの協議会も意欲的に地域のコミュニティを広げる工夫をしています。みなさんの地域でも「情報共有の場」「コミュニティの輪を広げる場」として地域フォーラムを開催してみませんか。

「東部地域防災」 [本宿コミュニティ協議会・東部防災会]

日時：平成28年3月5日（土） 午後2時～

参加者：27名（消防団、本宿小学校、幼稚園、青少協、日赤奉仕団、福祉の会、民生委員、老人クラブ、防災推進員、町内会、吉祥寺東コミセン、市防災課・市民活動推進課）

開催の経緯・目的を教えてください。

今地域での一番の問題は何かを考えたとき、「来るべき首都直下型地震への準備」ではないかという話になり、そこで東部防災会と共催で防災についてのフォーラムを開催することとした。初めての地域フォーラムということもあり、まずは各団体が一堂に集まり、問題点を掘り出し、認識の共有化を図ることが第一歩であると考えた。本宿コミセンは3年前から活動している東部防災会の構成員として参加した。

他団体や地域の方への呼びかけの方法や工夫したことはなんですか？

地域のすべての団体へ案内状を送付。当日のスムーズな運営と事前の意識共有のため「災害時の行動と今取り組んでいること」について、事前に質問し回答をもらった。

開催してみて気付いたことや感じたことを教えてください。

防災は立場により様々な問題点を内包している。独居老人の安否確認・避難誘導、小中学生や幼稚園児の避難誘導、地域のハザードマップの作成、AEDの操作等について、地域の団体がどのように関わっていき、業務分担するのか。防災だけでも様々な問題点があるという事を、互いに共有できたことに意義があった。取り敢えずは、各持ち場で地道に活動していく事が大切。

今後の課題について

今回は、団体への呼びかけだけであったが、今後地域住民と問題点の共有化をどのように図っていくかも考える必要がある。

各団体が、自分の立場を通じての問題点を発信。一口に防災といっても、課題は多岐にわたることが分かった。



「地域フォーラム」 [けやきコミュニティ協議会]

日時：平成27年11月29日（日） 午後2時～

テーマ：●地域の人材をいかに発掘して育てるのか

●団体の枠を超えて協力できることは何か？

参加者：25団体53名（PTA(四中、大野田小)、あそべえ、青少協、民生委員、地域防災会、福祉の会、(社福)武蔵野、(社福)社協、緑町コミセン、成蹊大、市高齢者支援課)



開催の経緯・目的を教えてください。

- ・地域の事務局として、地域をまとめたい。
- ・地域を繋げ、話し合う事によって地域の問題・課題の掘り起こしをしたい。

他団体や地域の方への呼びかけの方法や

工夫したことはなんですか？

- ・地域の諸団体全てにチラシ配布。
- ・一方的なチラシだけでなく、きちんと参加・不参加の回答を盛り込んだ。
- ・チラシの中に興味を引くキャッチフレーズを考え、やることの意義を盛り込んだ。
- ・団体に配布の際鏡文をつけ、丁寧に参加をお願いした。
- ・各団体の方にお会いする度に参加をお願いした。
- ・前もってアンケートをお願いし、各団体の抱える課題等をキャッチしていた。（アンケートは案内に同封し、FAXでの回答とした。）



開催してみて気付いたことや苦労した点、感じたことを教えてください。

- ・皆が話しやすい内容についてのテーマ選びが難しく何度も検討しなおした。
- ・参加者から、話し合う機会をもっと作ってほしいとの要望があり、またコミセンが中心になってやらねばという使命感が芽生えた。
- ・皆話し合う場がほしいのだなと思った。
- ・準備に時間がかかり苦労した。（良いものを作るには仕方ないことかも？）
- ・世代間での交流と情報交換ができたことにより、視野が広がり、思いがけないアイデアや意外な話が聞けて興味深い時間が共有できた。
- ・地域との繋がりを持つことにより、人と人が繋がり、知り合いが増え、信頼関係も構築され、助け合いの精神も生まれる。

これから開催する協議会等へアドバイスをお願いします！

- ・なるべく早く計画し、お知らせをすること。
- ・まずは、話しやすく興味を持つようなテーマ、時代の流れに沿ったテーマを設定するといい。
- ・開催するに当たり、熱い思いを伝える（スタッフや参加者）。
- ・お茶やお菓子があると場がなごむ。
- ・少人数のグループ分けをすると、全員が発言でき、活発な議論の場となる。
- ・各グループの進行役は、慣れた方に前もってお願いするとスムーズに進む。
- ・テーマの説明や終了後のまとめなど、進行にメリハリをつけるとよい。

「地域フォーラム」[主催：千川地域防災会、協力：八幡町コミュニティ協議会]

日時・参加者：下表開催記録のとおり

(防災協会、日赤奉仕団、福祉の会、親の家、防災推進員、(社協)武蔵野、PTA(千川小)、青少協、民生委員、消防団、武蔵野北高、市防災課)

千川地域防災会からの防災についての「地域フォーラム」開催協力の依頼を受けて、協議会として取り組んだことはなんですか？

- ・会場の提供
- ・「地域フォーラム」の考え方を運営委員会で共有意識として持ち、千川地域防災会からの提案に「協力」の形で参加
- ・広報（ポスター、コミセンだより等）活動で協力
- ・第2回、第3回は、当日までの準備、当日の進行など「事務局」として参加
- ・協議会として課題としている「地域支え合いステーション」についても、情報提供し地域の認識を共有する場とした。
- ・「地域フォーラム」開催後の運営委員会で、内容の報告を千川地域防災会の方からしてもらった。

開催して気付いたこと、これから開催する団体にアドバイスをお願いします！

- ・「地域フォーラム」の参加対象を千川地域防災会関連の団体・個人としてはじめてなので、協議会の運営委員、一般の住民の方へのPRが弱かった。
- ・地域防災は、今後も住民と共に「自分たちが考え、行動すること」とするなら、「地域フォーラム」として継続的なテーマとなりうる要素をいっぱい持っていると感じた。
- ・目的別に組織されてきた地域の団体にも、何かしらの困っていること、行き詰っていることがあるように思う、それを「地域フォーラム」の形で話し合っていけるといいのかもなあ・・・と漠然と思いました。
- ・館を持っているコミセンが、その会場になる、自然な運びだと思えます。

【開催記録】平成27年度開催 地域フォーラム

第1回	7月18日(土)午前10時～ [主催]千川地域防災会 [協力]八幡町コミュニティ協議会 [出席者]21名 ・地域防災についての情報・課題を共有化
第2回	9月26日(土)午前10時～ [主催]千川地域防災会 [事務局]八幡町コミュニティ協議会 [出席者]38名 ・避難所運営委員会本部会長(千川小担当)副会長(武蔵野北高担当)の人選が決まる。 ・作業部会(各団体・地域から10名が個人参加)発足
第3回	11月21日(土)午前10時～ [主催]千川地域防災会 [事務局]八幡町コミュニティ協議会 [出席者]30名 ・発災時に関心を持ってもらえる本部メンバーに26名が賛同、今後も声掛けをする ・作業部会で避難所居住場所の図面作成、備蓄倉庫調査と保管方法の改善等、 平時の準備作業進行
今後の予定	・3月に避難所運営委員会本部立ち上げ集会予定 ・千川地域の避難所運営の手引き(修正版)の完成予定

3回の地域フォーラムを実施して感じたこと(千川地域防災会)

- ・防災という共通のテーマであっても、各地域団体とすぐ協議の場になることは難しいというのが現実だった。
- ・実際に動き出せたのは、日頃の地域の活動を通しての個人的なつながりが大きな効果をもたらしたからだと思う。

「講演会」 [吉祥寺北コミュニティ協議会・福祉の会・北祥会]

🔑 開催の経緯・目的を教えてください。

「地域住民・団体」とコミュニティを形成し、それを深めるための企画は何がよいか、との発想から地域の問題を題材とする講演会開催が採択され、年1回、既に15回開催しており、地域フォーラム面では先行していると考えます。

🔑 他団体や地域の方への呼びかけはどのように行っていますか？

地域住民・団体とのつながりを太くするという目的があったので、地域の大きな団体である福祉の会・北祥会（老人クラブ）とコミュニティ協議会の3者による共催でスタート。現在も同様の形で開催している。地域の他団体とは日頃の館事業において協力関係を築いている。案内状を各団体委員長宛てポスティングし、一般の方々へは、毎月発行の「北コミだより」でご案内している。

🔑 開催してみて気付いたことや苦労した点、感じたことを教えてください。

これまでのテーマは、「裁判員制度について」「市の医療制度について」「これからの介護保険と市の包括ケアについて」などで、地域住民により役立ち、より知りたいというニーズに対応したテーマを選定している。実は、講師をどなたにお願いするか！お願いできるか！のほうが大きなテーマである。

🔑 これから開催する協議会等へアドバイスをお願いします！

友好団体との共催はとても有効。講演テーマの決定は、共催者側の主導に任せたほうが良い。



平成28年2月13日（土）実施の講演会の様子。

題目は「マイナンバーについて」
講師は市情報管理課の職員。みなさんが今一番知りたい情報ということもあり、参加者は73名と大盛況！

🔑 今後の課題について

地域の課題解決のため、様々な団体・NPOをコーディネートする役割を担っていくことは、コミュニティ構想からするとコミセンに期待されるソフトなシステム計画なのだろうが、現状では荷が重い。しかし、実施済の講演会のテーマ「地域のきずなとは」「地域にいかすコミュニケーションの力」などは、地域のコミュニティづくりを共に学習するのに良いテーマであったと思う。

「地域懇談会」 [吉祥寺西コミュニティ協議会]

日時：平成27年10月10日（土） 午後2時～

テーマ：井ノ頭通り美化活動について

参加者：11名（福祉の会、クリーンむさしの、吉祥寺本町シルバー会、すくすく泉の会、PTA(井之頭小)



開催の経緯・目的を教えてください。

7年ほど前に、地域の諸団体（吉西福祉の会、第一小学校PTA、井之頭小学校PTA、青少協第一地区、青少協井之頭地区、第一小学校あそべえ館長、井之頭小学校あそべえ館長、クリーンむさしのを推進する会、吉祥寺本町シルバー会、吉祥寺本町在宅介護支援センター、中道通り商店会、防災推進員本町支部、環境美化推進員本町支部、防犯推進員本町地区）の連携と地域の課題解決のために、地域懇談会が開催され、今日に至っている。

初期の懇談会の内容は、諸団体の活動の紹介などであったが、本来の目的である地域の連携と地域の課題解決として、4年前ぐらいから西コミセンが行っている街並みウォッチングで気付いた問題点などを取り上げて開催している。過去には、安心安全のまちづくりをテーマにまとめたものを市役所に要望書を提出したこともある。現在は、井ノ頭通り美化活動のテーマについて、懇談会を開催している。

他団体や地域の方への呼びかけの方法や工夫したことはなんですか？

- ・開催のたびごとに、他団体の代表の方に開催通知を出し、出席の有無の返事をいただいている。
- ・運営委員の人脈を通して参加を呼びかけている。

開催してみて気付いたことや苦労した点はなんですか？

- ・懇談会に出席する人が固定化している。
- ・地域の団体の共通の課題を見つけることに苦労している。



開催の効果を教えてください。

現在行っている井ノ頭通り美化活動は、毎月2回定期的（第1日曜・第3土曜）に行うことにより、井ノ頭通りがきれいになったばかりでなく、共同作業により参加されている人と人のつながりができ、少しずつであるが、地域のコミュニティづくりに役立っているのではないかと思う。

これから開催する協議会等へアドバイスをお願いします！

- ・当然の事ではあるが、開催する目的（地域のコミュニティづくり）を明確にすること。
- ・そのために他団体の代表に集まってもらって、何をテーマに開催するか、明確にすること。
- ・何をテーマ（課題）にするのか、仮称：テーマ検討委員会のようなものをコミュニティ協議会の中に設け、それをもとに他団体・個人に呼びかけるのが良いかもしれない。

「防災地域フォーラム」 [主催：桜野地域防災懇談会準備会]

[共催：西部コミュニティ協議会・桜堤コミュニティ協議会、協力：武蔵野市]

日時：平成28年2月28日（日） 午後2時～ 会場：西部コミセン

参加者：35名（青少協、ケアハウス、福祉の会、二中、桜野小、防災推進員、老人クラブ、町会、自主防災会、消防団、クリーンむさしの、民生委員、初動要員、日赤奉仕団、市防災課・市民活動推進課）

開催の経緯・目的を教えてください。

今まで実施してきた桜野地域防災懇談会準備会・小委員会とも、関連団体の長が中心になって進めているので、市民の声を反映させたかったのが開催の目的です。



他団体や地域の方への呼びかけの方法や工夫したことはなんですか？

- ・ポスター、チラシ、市報のほか、むさしのFMでもPRした。特にポスター、チラシについては西部、桜堤両コミセンで浸透できた。
⇒その結果、参加者の3分の2が一般市民だった。
- ・意見を出してもらうために、席上でアンケートの記入と回収を行い、その方たちにアンケートの内容について質問してもらうように工夫した。
⇒その結果、手あげ方式より質問の回数、内容とも充実したものになったと思う。

開催してみて気付いたこと・感じたことを教えてください。

- ・ポスティング、声掛けの大切さを再認識した。
- ・一般市民の発言が多く、普段は聞けない意見を聞くことができたのでやって良かったと感じた。
- ・準備会に参加している他団体にも、市民の声が直に届いて良かったと思う。
- ・意見が多岐に亘り、総括できなかったが、避難所運営組織に期待する声が多く聞かれた。

参加者からの反響はなにかありましたか？

大規模マンション等集合住宅の参加者からは、地域の防災情報を知ることが出来るので、今後もうこういう会合については知らせてほしいという声がありました。

これからの「地域フォーラム」へ期待すること！

- ・もともとのコミュニティ構想の目指すところは、地域毎にそれぞれの課題を共有して一緒にやっっていこうということだった。
- ・目的別のコミュニティ団体が出来てから、子どもの事は青少協、福祉の事は社協というように、地域課題についてコミセンがコミュニティづくりの中で対応することから除外する傾向が出てきた。
- ・地域における、各団体の課題をもっと共有して、もともとのコミュニティ構想の目指すところに近づける手段が「地域フォーラム」の考えだと思う。
- ・従ってこれから開催される場合は、大上段に「地域フォーラム」開催を訴えるのではなく、取り上げるテーマについて皆で気軽に話し合ってみませんかというアプローチが良いと思う。
- ・そのためには市の各主管課ももっと連携して欲しい。

Knock!!

行政による「これからのコミュニティ」への 新たな参加者の呼びかけ

Knock!!

地域フォーラムの運営をはじめとした地域のコミュニティづくりやコミュニティ協議会をより活性化させるためには新たな参加者が必要です。

そこで武蔵野市では、新たな参加者を呼び込むために下記の取り組みを始めました。



◆マンション管理組合等からの参加の呼びかけ

これまで地域となかなか接点を持てなかったマンション住民の方々とのコミュニケーションを図り地域づくりへの参加を促すため、平成26年4月より、新築マンションの管理組合や管理会社に当該地域の地域社協（福祉の会）と、コミュニティ協議会（コミュニティセンター）をご案内する文書を配布しています。

武蔵野市には全市的な自治会や町会はありませんが、地域の方々の支え合いの力によって安心して暮らせるまちづくりを行っています。より住みやすいまちづくりのため、多くの方に地域づくりに参加してもらえることを期待しています。

マンション管理組合の皆様へ

皆様が安心して暮らせるまちづくりへの協力について（武蔵野市からのお願い）

時下、ますますご清祥のことと存じます。この度は、当市内においてマンション管理組合の設立、誠にとおめでとうございます。当市では、皆様が安心して暮らすことができるまちを目指して、様々な取り組みを行っているところです。



◆コミュニティセンター（コミセン）案内リーフレットの配布

平成26年11月から、引っ越しをしてきた方を対象に、コミセンを知ってもらうためのリーフレットの配布を始めました。武蔵野市では、住民の入れ代わりが多いためか、約半数の市民がコミセンを知らないという調査結果が出ています。コミセンは今後も地域の団体や人びとをつなぎ、コミュニティづくりの拠点として重要な役割を担うことが期待されています。

リーフレットを見てコミセンを知り、まずは気軽に足を運んでもらいたいと思います。

イラストは武蔵野市在住で全国的に活躍されているイラストレーター、キン・シオタニさんが手がけています。

コミセン一覧

市内16のコミュニティ施設にそれぞれコミセンが設けられています。コミセンはみなさんのコミュニティづくりの拠点として、市役所の協力を得て開設されています。

各コミセンでは地域の方や市が企画した事業やイベントを行っています。例えば、小さな子ども達のための事業「コミセン親子ひろば」や高齢者福祉・学習するための「地域倶楽部クラブ」の活動、地域のあそび場・文化祭など、多世代の方に参加を、楽しんでいただけるよう事業を推進しています。

※お問い合わせ先は「地域交流ステーション」となります。コミセンでは、いざという時に協力し合い、助け合える関係づくりを行っています。日頃から顔の見える関係づくりができていると安心ですね。

※お問い合わせ先は「地域交流ステーション」です。市役所と連携して、地域への情報発信や地域活動の促進、高齢者や障害者などの配慮が必要な方の参入を行っています。

1	吉祥寺東コミセン	吉祥寺東町1-12-8	TEL 21-4141
2	法本 南コミセン	吉祥寺東町3-25-2	TEL 22-0763
3	吉祥寺南コミセン	吉祥寺東町3-13-1	TEL 43-8372
4	曾根 山コミセン	曾根山1-5-11	TEL 48-9309
5	法本 南コミセン	吉祥寺東町1-22-2	TEL 22-7002
6	吉祥寺北コミセン	吉祥寺北町1-20-17	TEL 55-3297
7	吉祥寺北北コミセン	吉祥寺北町1-22-10	TEL 22-7006
8	まげや 西コミセン	吉祥寺北町5-6-19	TEL 54-8719
9	幸 西コミセン	幸町3-5-17	TEL 53-3834
10	西久 保コミセン	西久保1-23-7	TEL 54-8990
11	幸 南コミセン	幸町3-1-17	TEL 53-9594
12	八幡 南コミセン	八幡町3-3-16	TEL 54-0169
13	幸 南コミセン	幸町2-28-10	TEL 51-0206
14	幸 南コミセン	幸町5-6-20	TEL 56-2889
15	幸 南コミセン	幸町3-22-9	TEL 32-8565
16	幸 南コミセン	幸町3-3-11	TEL 53-5311

※1～16は「16区」の名称順、17～20は「16区」です。※21～25は「16区」の名称順で掲載していません。

イラストは武蔵野市在住で全国的に活躍されているイラストレーター、キン・シオタニさんが手がけています。

みんなでやってみよう！！地域フォーラム
—地域フォーラム実践集—

発行 平成28年4月

作成メンバー

コミュニティ研究連絡会副委員長 寺島 芙美子

吉祥寺北コミュニティ協議会 梅澤 博

八幡町コミュニティ協議会 伊藤 さつき

事務局 武蔵野市コミュニティ研究連絡会事務局

(武蔵野市市民部市民活動推進課)

〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28

電話：0422-60-1830

FAX：0422-51-2000

E-mail：sec-katsudou@city.musashino.lg.jp